

サステナブル・コミュニティ研究会 NEWS LETTER Vol.4

サステナブル・コミュニティ研究会のイベント紹介

この夏、幅広い世代を対象としたワークショップイベントを開催

サステナブル・コミュニティ研究会(代表:三井不動産レジデンシャル株式会社 ※詳細は後述)は、この夏、学生から様々な分野で活躍する社会人まで幅広い世代を対象としたワークショップイベントを開催します。マンション・コミュニティを中心に都市のコミュニティについて研究している成果を広めていくとともに、イベントを通じて、幅広い世代、職能の方々が持つコミュニティに関する考えや活動を共有することで、新しい発見や価値を見つけ、今後の研究活動に役立てていきたいと考えております。

「これからの『都市のコミュニティ』を考える」では組織やコミュ

ニティを活性化させる技術「ファシリテーション」に焦点をあて、都市のコミュニティを考えるイベントを開催します。

「issue+design WORKSHOP TOKYO 2014マンション・コミュニティ+design」では「マンション・コミュニティ+design」と称し、マンション・コミュニティの課題を解決するためのアイデア発想方法を実践するワークショップを行います。「Neighbors Next U26 Summit」は26歳以下を対象に未来の都市のコミュニティについて考えるワークショップイベントです。6月10日(火)に第1回を開催し非常に好評だったため、続編として第2回を実施します。

EVENT

1 これからの『都市のコミュニティ』を考える

今回、マンションに実際に住んでいる人やマンション管理組合運営に従事している方々を対象にしたワークショップイベント「これからの『都市とコミュニティ』を考える①」(全2回)を開催します。

このイベントは人と人をつなぎ、組織やコミュニティを活性化させる技術「ファシリテーション」に焦点をあて、それがプライベート重視

と思われがちな都市のコミュニティにおいて通用するのか実際に活躍するファシリテーターと検討し、今後について考える取り組みです。

イベントを通じて、幅広い世代の方々にマンション管理組合運営やマンションコミュニティにかかわるきっかけを提供したいと考えております。

第1回テーマ:マンションの管理組合や地域コミュニティにファシリテーションは通用するか?

日時 2014年8月1日(金) 19時受付 / 19時15分~22時30分(懇親会含む)

場所 Clipニホンバン(東京都中央区日本橋室町3丁目3-3 CMビル 6F) <http://www.clip-tokyo.com/>

参加費 1,000円(学生無料) ※懇親会費込み

プログラム内容

- 1: キーノートスピーチ「マンションのいまとこれから」 岡本正さん(弁護士・マンション管理士)
- 2: ゲストトーク① 「ファシリテーターが管理組合活動にチャレンジするとき」 高柳謙さん(ファシリテーター・マンション管理組合理事長)
- 3: ゲストトーク② 「マンションのこれからのランドビジョンを対話から描く」 山本美賢さん(マンション管理組合理事)
- 4: バズ・セッション ゲストがテーブルにわかれて「金魚鉢バズ・セッション」を実施
- 5: 全体共有

問い合わせ: ステップチェンジ株式会社 31seminar@stepchange.co.jp

都市型マンションには、隣人との付き合いがなく、孤立した生活を送る人がいます。生活音やペットの飼育、駐輪など、居住マナーに関するトラブルが発生しています。高齢者の単身世帯が多いマンションでは、緊急時の対応や日常生活での安全性が問題になっています。豊かなコミュニティをつくり、多様な人々が共に気持ちよく

暮らしていくために、デザインには何が可能でしょうか。本ワークショップでは「マンション・コミュニティ+design」と称し、広く希望者を募り、アイデアを集約します。本取り組みを通して、実際に課題解決の新しいアイデアを社会に提供することが狙いです。

日時 2014年7月25日(金) 19時~21時 / 8月13日(水) 9時30分~20時 (全2日間)

場所 Clipニホンバシ(東京都中央区日本橋室町3丁目3-3 CMビル 6F) <http://www.clip-tokyo.com/>

募集人数 40名

応募資格 大学・大学院・専門学校に所属する学生及び社会人(2日間出席でき、課題を提出可能な方)

参加費 無料

問い合わせ: issue+design「マンション・コミュニティ+design」事務局

TEL : 03-6441-7752 E-Mail : info@issueplusdesign.jp HP: <http://issueplusdesign.jp>

人口減少、少子化、高齢社会、激増する単身世帯、無縁社会、震災リスク、上昇する空室率... 日本の都市はこれら多くの問題を抱えています。そして、これらの問題が重くのしかかるのが、未来の都市に暮らす若い世代です。一方で、子育ての充実、独居老人の見守りやお年寄りへの配慮、孤独死の予防、共助による防災・防犯といった

問題解決のベースにあるのが、「街に住む人々のつながり」=Neighbors(ネイバーズ)です。そこで、未来の都市に暮らす若い世代を中心に、都市において多くの人々が暮らす「集合住宅」を軸に、未来の都市のあるべき姿を模索します。

日時 2014年7月15日(火) 19時~22時30分(懇親会含む)

場所 Clipニホンバシ(東京都中央区日本橋室町3丁目3-3 CMビル 6F) <http://www.clip-tokyo.com/>

募集人数 20名限定

応募資格 都市・住まいのつながりについて問題意識を持つ学生と若手社会人(26歳以下)

参加費 無料

問い合わせ: la_plante@me.com

◇第1回活動報告

6月10日(火)にClipニホンバシ(中央区日本橋室町)にてセミナーイベント「Neighbors Next U26 Summit」を開催しました。このイベントはこれからの社会を担う26歳以下の社会人・学生を対象に未来における都市のコミュニティについて考える場をつくり、マンションをはじめ、自分たちの住まいについて新しい発見をしてもらおうと企画し、ゲストトークとワークショップの2部構成で約50名が参加して行われました。

ゲストトークの後に行われたワークショップでは、「都会や田舎暮らしなど、将来、どのように暮らしていきたいのか」「近所付き合いやより良い暮らしを得るためにどのようにコミュニティを育てていくのか」などをテーマに参加者が話し合いました。暮らしやコミュニティについて意識が高い参加者が多く、ゲストも輪に加わって活発な議論が行われました。また、締めくくりに行った参加者(約50名)への挙手による質問では、「Q1: 将来、田舎に住みたいか、都会に住みたいか」意見がそれぞれ半数に分かれました。

「Q2: (住宅における)コミュニティについてあえて作った方がいいか」必要性を感じる方が約8割でした。

「Q3: シェアハウスに住むことができるか」

ほぼ半数に意見が分かれるという結果にそれぞれなりました。

26歳以下の若者がマンション・コミュニティを中心に都市のコミュニティについてどのように考えているのかを知る非常に有意義なイベントとなりました。今回行われた活発な議論は7月15日(火)の第2回に続きます。



ゲスト
・立教大学大学院経済学研究科経済学専攻 研究生 猪股有佐さん
・HITOTOWA INC.代表 荒昌史さん
・株式会社ひつじインキュベーション・スクエア 代表取締役 北川大祐さん

■サステナブル・コミュニティ研究会 概要

三井不動産レジデンシャルが中心となって立ち上げたプロジェクトであり、アドバイザーボード委員(有識者)や各種外部団体と連携しながら活動中。「集合住宅におけるサステナブル・コミュニティ指標」の策定やコミュニティ活動の支援施策として「Park HOMES Greeting」等を進めている。

○サステナブル・コミュニティ研究会ホームページ <http://sustainable-community.jp>